

令和6年度

学校関係者評価書

東北ヘアモード学院
学校関係者評価委員会

全体評価

「心を育て技を磨く」を教育理念とし、理容美容業界人としての在り方やマナーを身につけることに主眼をおき、適切な指導を積み重ねた結果、一定の成果が定着し学校全体として落ち着いた環境である。来年度も更に質が上がることを期待する。

今年度も理容科美容科ともに入学者数が定員に達していないが、美容科の入学生が微増したこと、一関学院さんとの教育連携は評価できる。今後は、地域のサロンと連携した総合実習の内容を更に充実させ、実践力を磨ける魅力あるカリキュラムを広く周知する事が必要と思われる。

項目別評価

(1) 教育理念、教育目標

教育理念、教育目標に沿った指導行っている。今後も継続して学生や保護者だけでなく一般に周知していただきたい。

(2) 学校運営

概ね良好である。密に連携を図り良好な学校運営を望む。

(3) 教育活動

「教育課程編成委員会」の意見を取り入れ地域のサロンと連携した授業は評価できる。
更に、地域のサロンとの連携を強化し教育内容を精査して実践力の向上を目指してほしい。

(4) 学修成果

国家試験合格率を上げるために、筆記試験対策が来年度の課題である。少人数の学校なので100%を常に目指し努力して欲しい。
ネイル検定を全員取得した事は評価できる。
今後は、全員がトータルビューティラーを学び幅広い技術を提供できるビューティラーのスペシャリストを育成して欲しい。

(5) 学生支援

昨年同様「特待生制度」、が実施されたことを評価したい。学生支援の原資を確保する上でも寄附金、後援会など方法を考えてもらいたい。
社会人の受入れを積極的に行うため、各種支援の周知を行って頂きたい。

(6) 教育環境

地域企業などと連携しインターンシップや特別授業などの取組みは評価できる。
更に特別授業の回数を増やし職業観を養ってほしい。

(7) 学生の受入れ募集

理容科美容科ともに定員確保ができなかった。競合校の動向、少子化や大学全入学、経済状況の悪化、業界の縮小等の問題はありますが、定員確保に努力してほしい。

(8) 財務

入学者数が増加するよう、地域の組合などと連携を強化し学生募集を行い、今後も安定した財源を確保できるよう努めて頂きたい。

(9) 法令等の遵守

法令を遵守していると確認した。

(10) 社会貢献・地域貢献

地域のイベントにボランティアで参加し貢献できている。